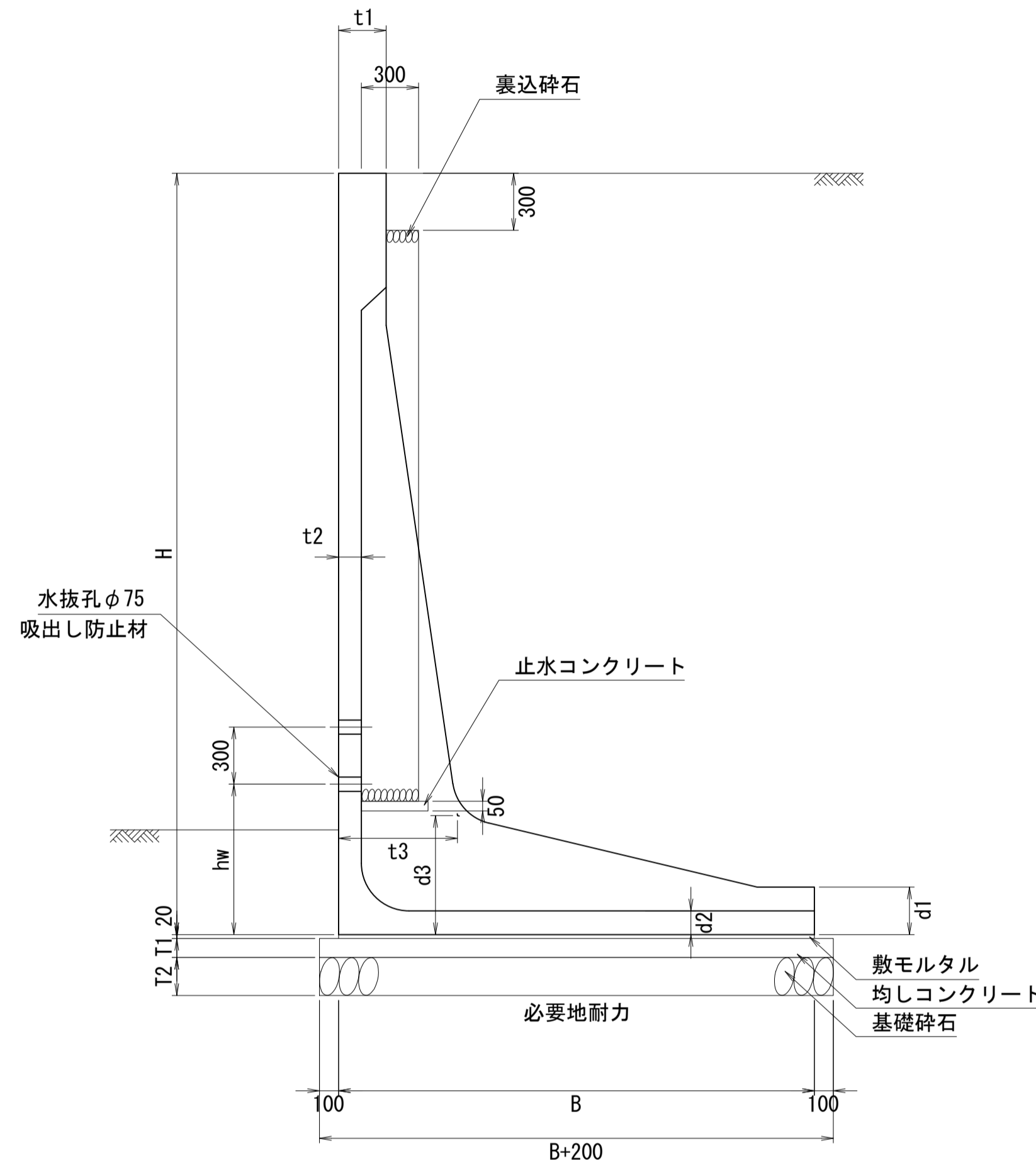


プレキャストL型擁壁構造図

A1 S=1:25

A3 S=1:50

ハイ・タッチウォール 大臣認定擁壁



製品寸法表

適用	各部寸法 (mm)												参考重量 (kg)	必要地耐力 (kN/m ²)
	H	B	L	t1	t2	t3	d1	d2	d3	hw	T1	T2		
	3250	2250	2005	250	120	560	250	120	560	700	100	200	5870	152
	3500	2250	2005	250	120	560	250	120	560	700	100	200	6170	162
	3750	2500	2005	250	120	625	250	125	625	790	100	200	7220	172
	4000	2500	2005	250	120	625	250	125	625	790	100	200	7520	185
	4250	2800	2005	250	130	670	300	130	670	870	100	200	9080	195
	4500	2800	2005	250	130	670	300	130	670	870	100	200	9380	206
	4750	3000	2005	250	130	735	300	130	735	950	100	200	10610	219
	5000	3000	2005	250	130	735	300	130	735	950	100	200	10910	232

設計条件 (土の内部摩擦角 $\phi=30^\circ$)

上載荷重	Q=10.0kN/m ²
土の内部摩擦角	30° (砂利または砂)
土の単位体積重量	$\gamma_s=18.0\text{kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu=0.5$ (岩、岩層、砂利、砂)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.0\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=36\text{N/mm}^2$
設計水平震度 (中規模地震時)	0.20
設計水平震度 (大規模地震時)	0.25

使用材料

敷モルタル	1:3
均しコンクリート	18N/mm ²
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

擁壁前面の根入れ高さ

造成工事	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上
------	------------------------

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m²に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

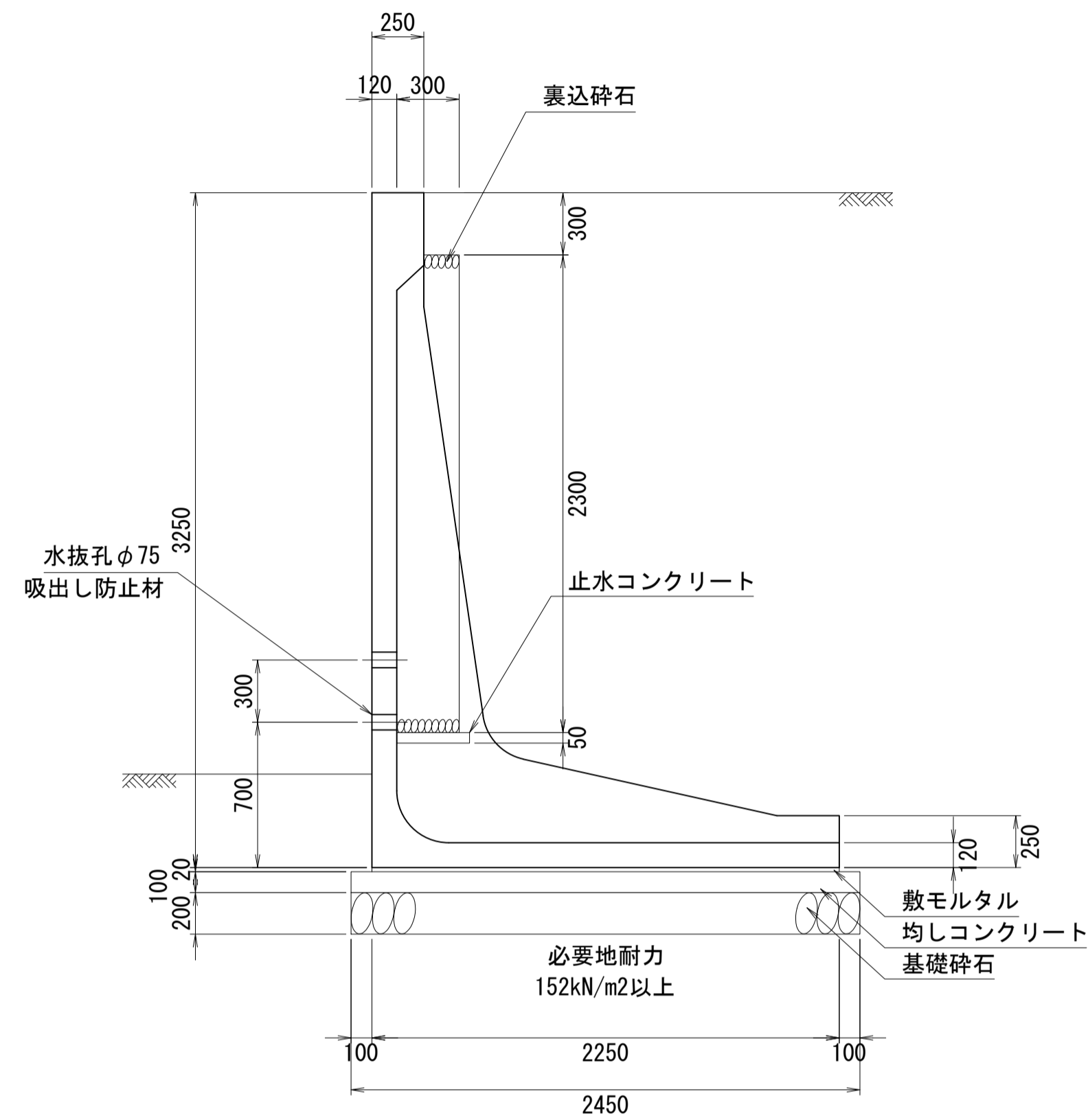
ハイ・タッチウォール

大臣認定擁壁

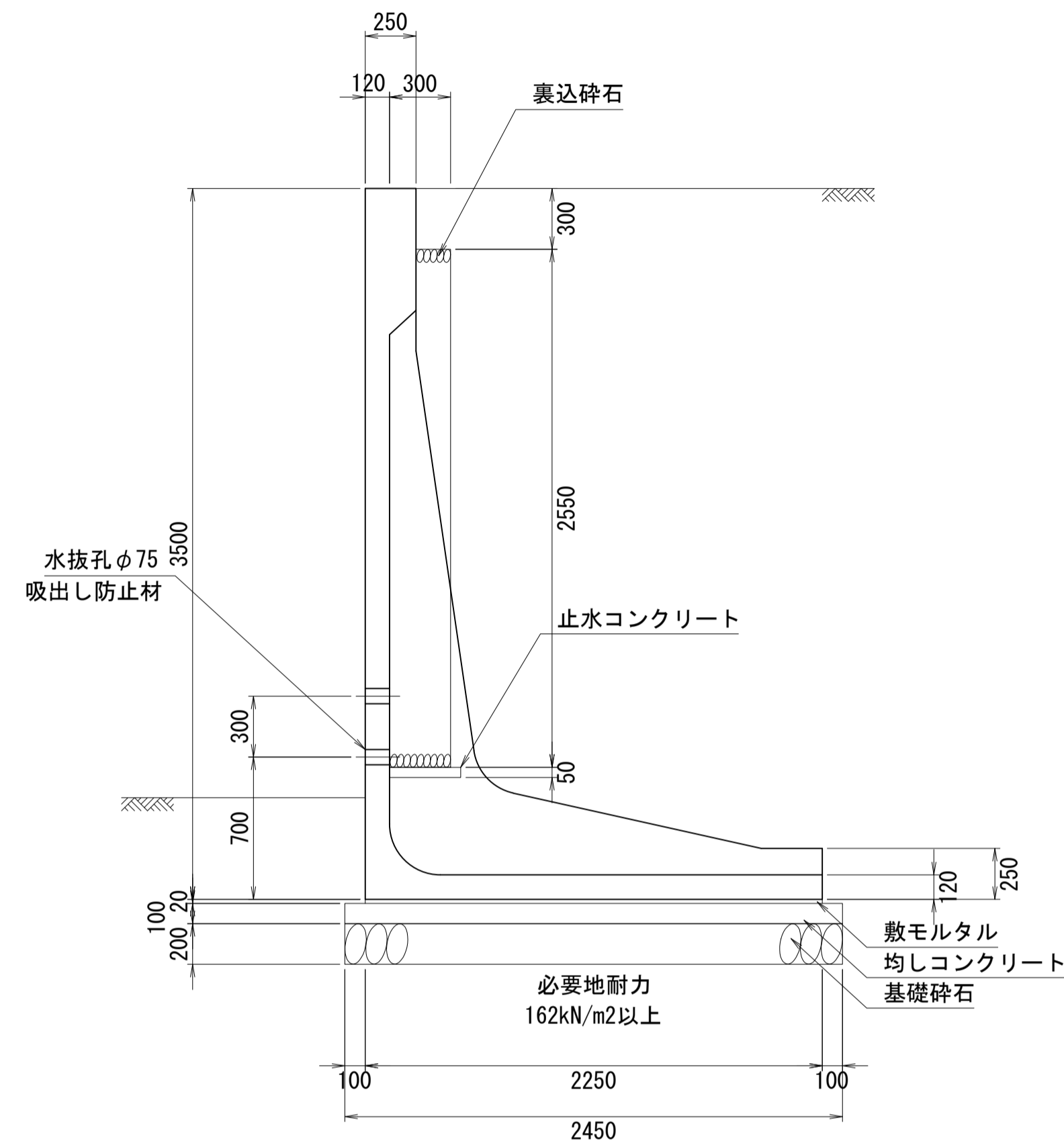
A1 S=1:25

A3 S=1:50

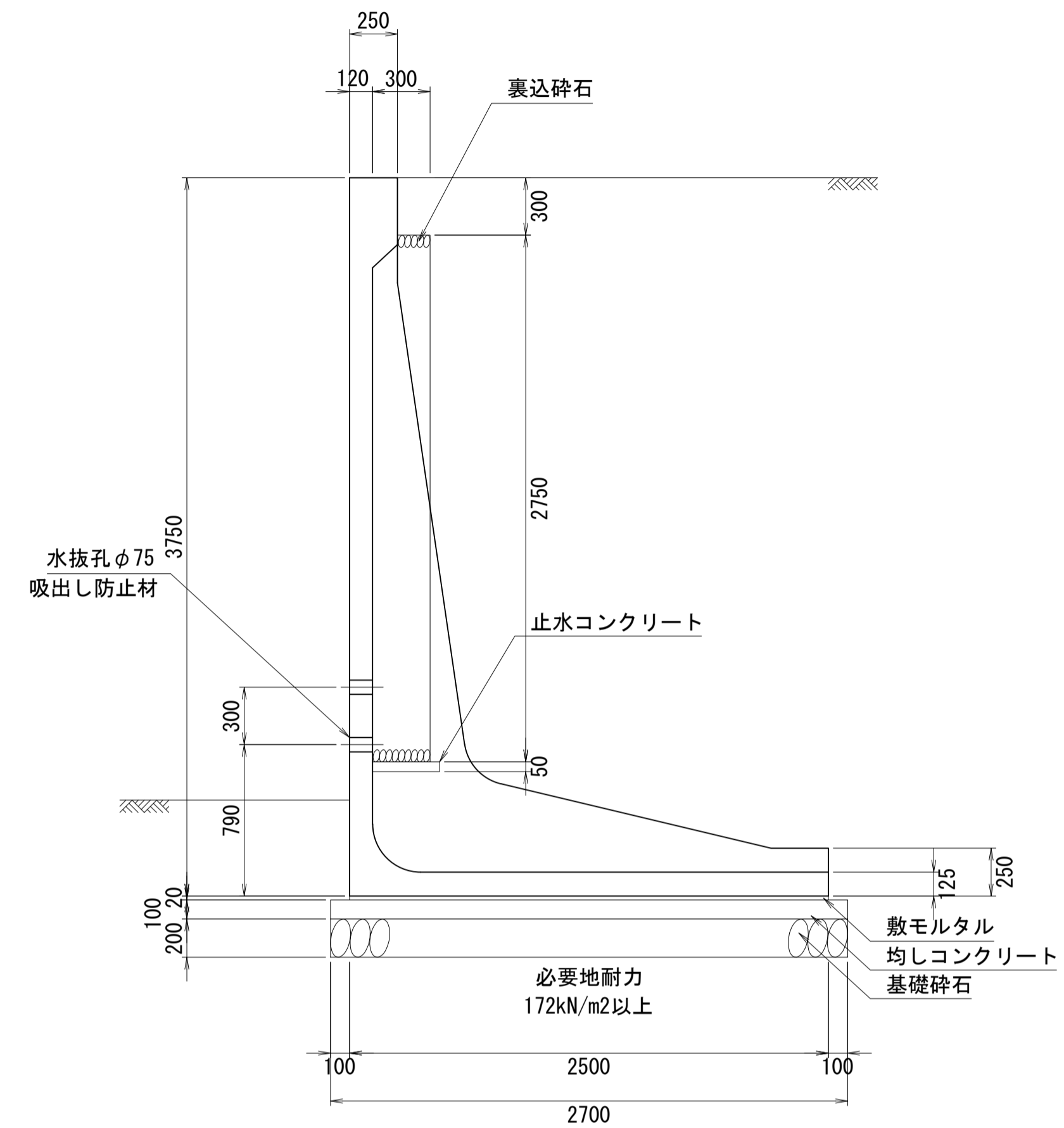
ハイ・タッチウォール
H=3250



ハイ・タッチウォール
H=3500



ハイ・タッチウォール
H=3750



設計条件(土の内部摩擦角 $\phi=30^\circ$)

上載荷重	$Q=10.0\text{kN/m}^2$
土の内部摩擦角	30° (砂利または砂)
土の単位体積重量	$\gamma_s=18.0\text{kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu=0.5$ (岩、岩屑、砂利、砂)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.0\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
設計水平震度 (中規模地震時)	0.20
設計水平震度 (大規模地震時)	0.25

使用材料

敷モルタル	1:3
均しコンクリート	18N/mm ²
基礎砕石	RC40-0
裏込砕石	RC40-0 or C40-0

擁壁前面の根入れ高さ

造成工事	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上
------	------------------------

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込砕石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m²に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

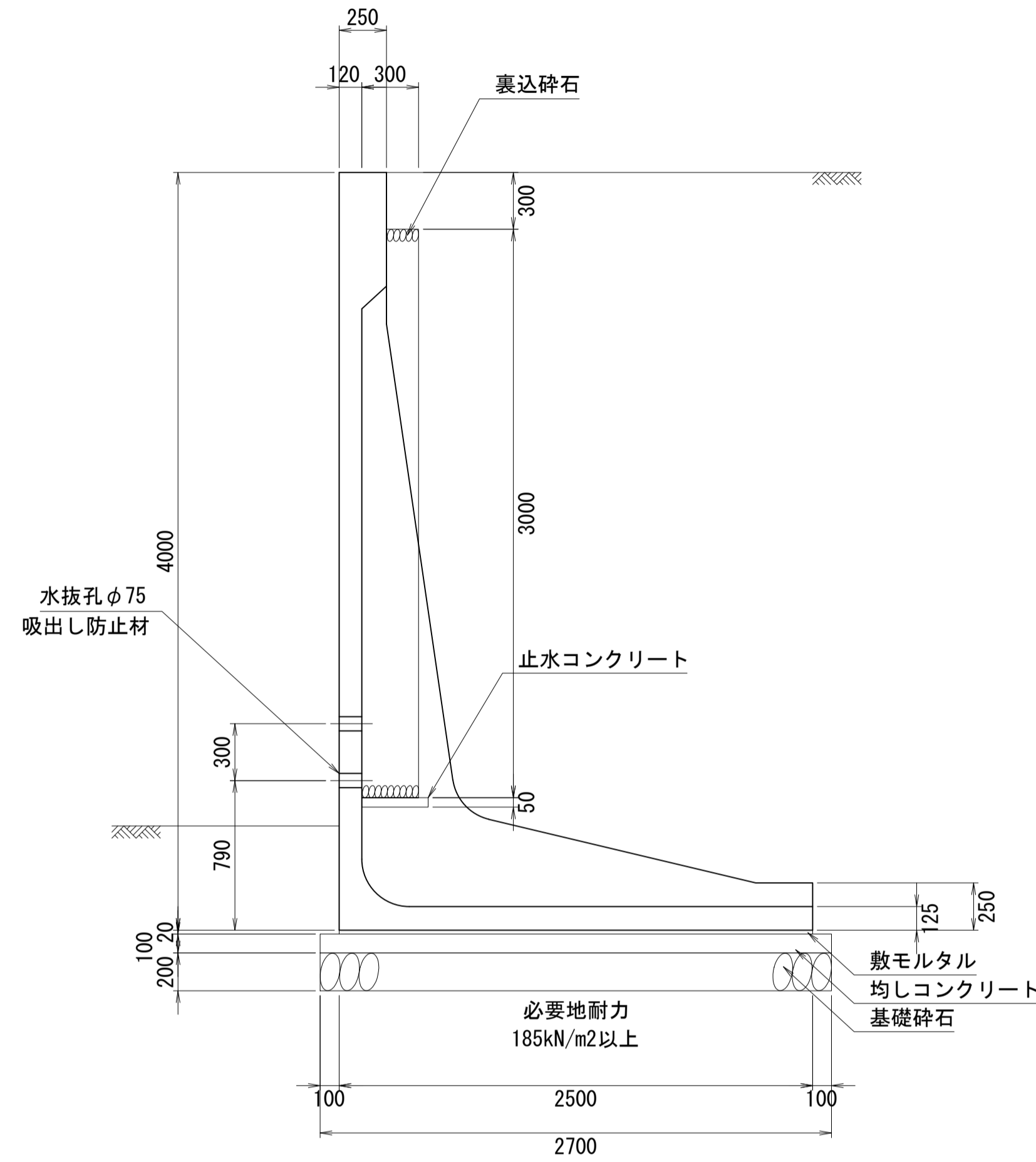
ハイ・タッチウォール

大臣認定擁壁

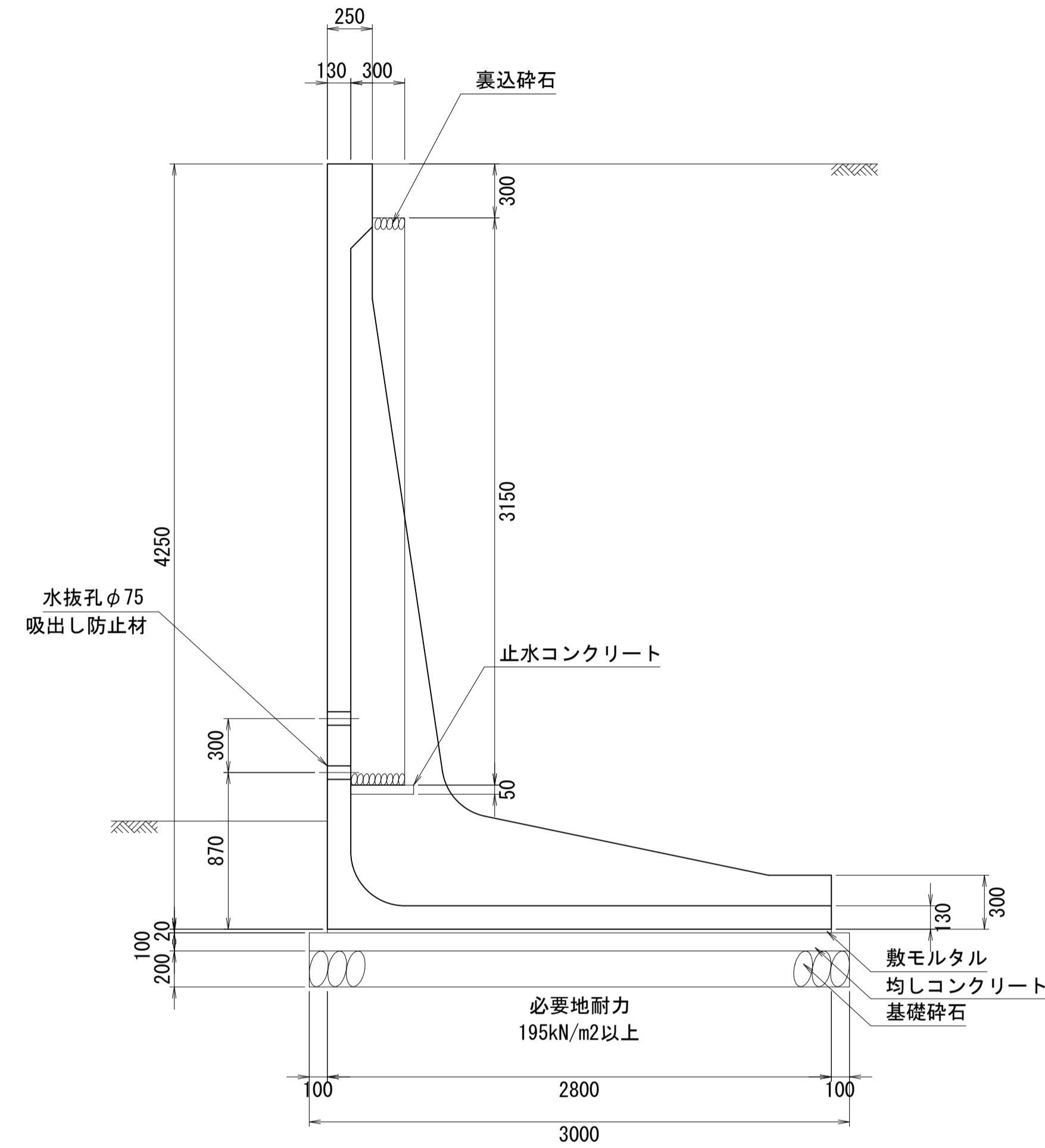
A1 S=1:25

A3 S=1:50

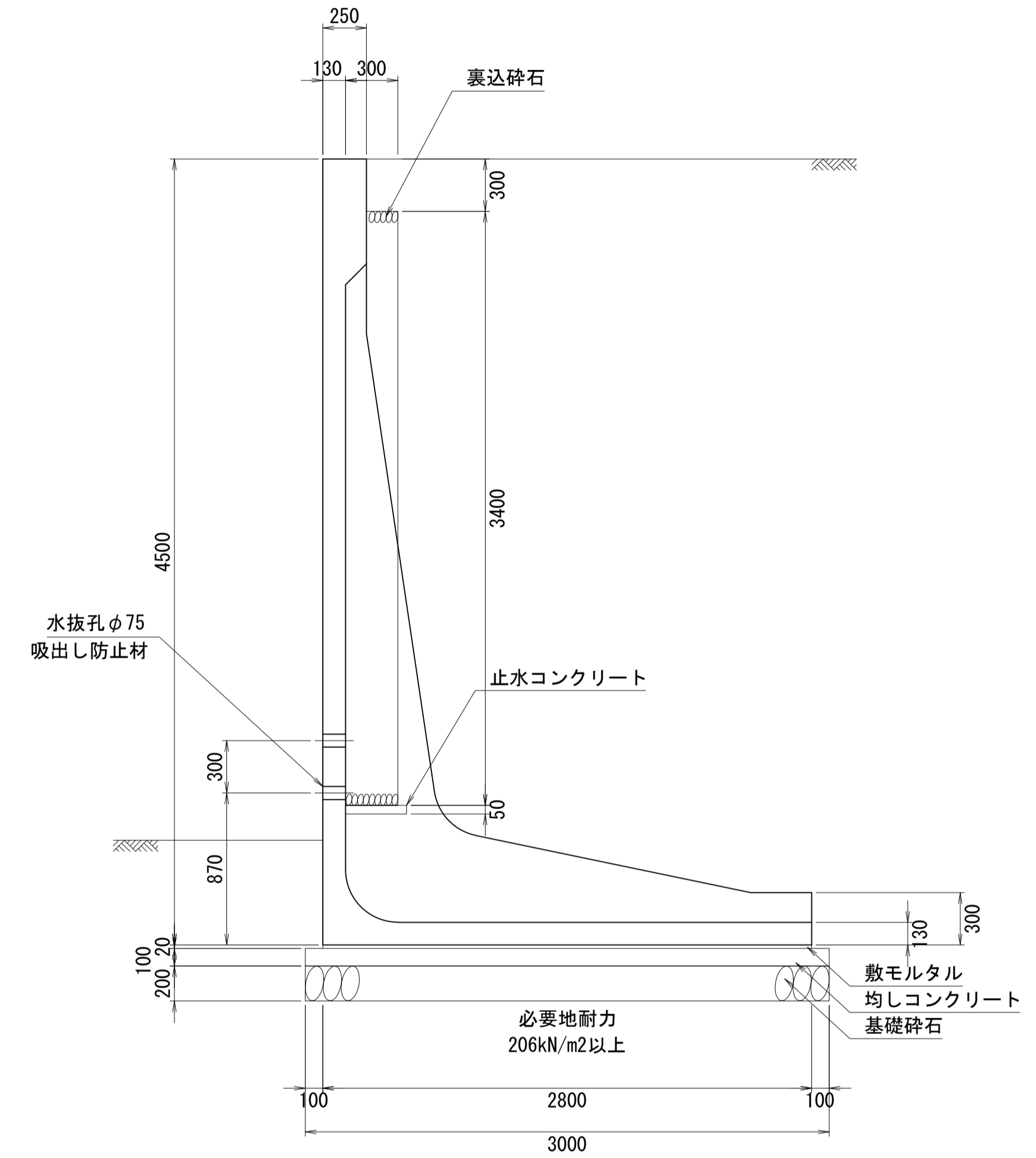
ハイ・タッチウォール
H=4000



ハイ・タッチウォール
H=4250



ハイ・タッチウォール
H=4500



設計条件(土の内部摩擦角 $\phi=30^\circ$)

上載荷重	$Q=10.0\text{kN/m}^2$
土の内部摩擦角	30° (砂利または砂)
土の単位体積重量	$\gamma_s=18.0\text{kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu=0.5$ (岩、岩層、砂利、砂)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.0\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
設計水平震度 (中規模地震時)	0.20
設計水平震度 (大規模地震時)	0.25

使用材料

敷モルタル	1:3
均しコンクリート	18N/mm ²
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

擁壁前面の根入れ高さ

造成工事	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上
------	------------------------

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m²に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

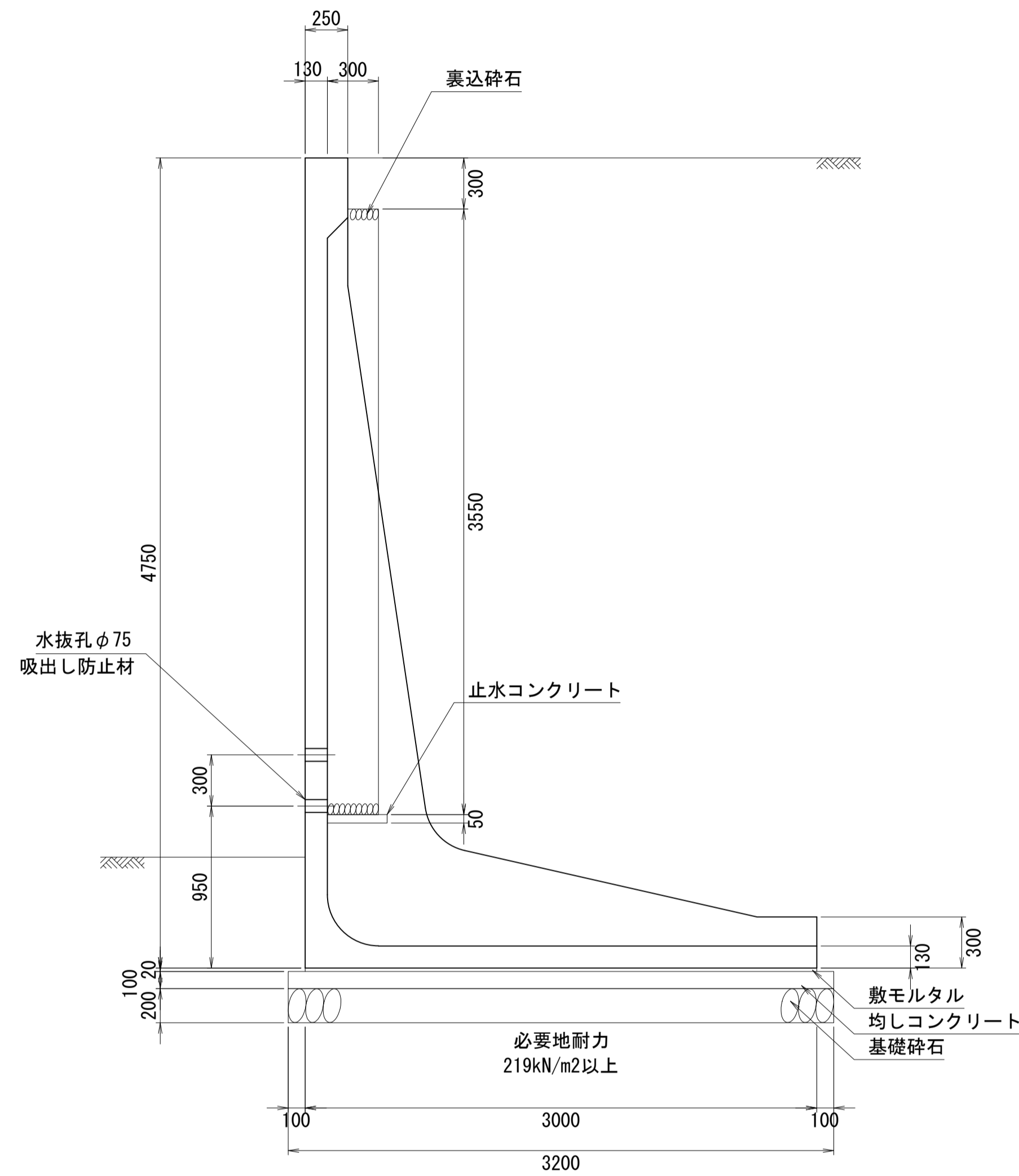
ハイ・タッチウォール

大臣認定擁壁

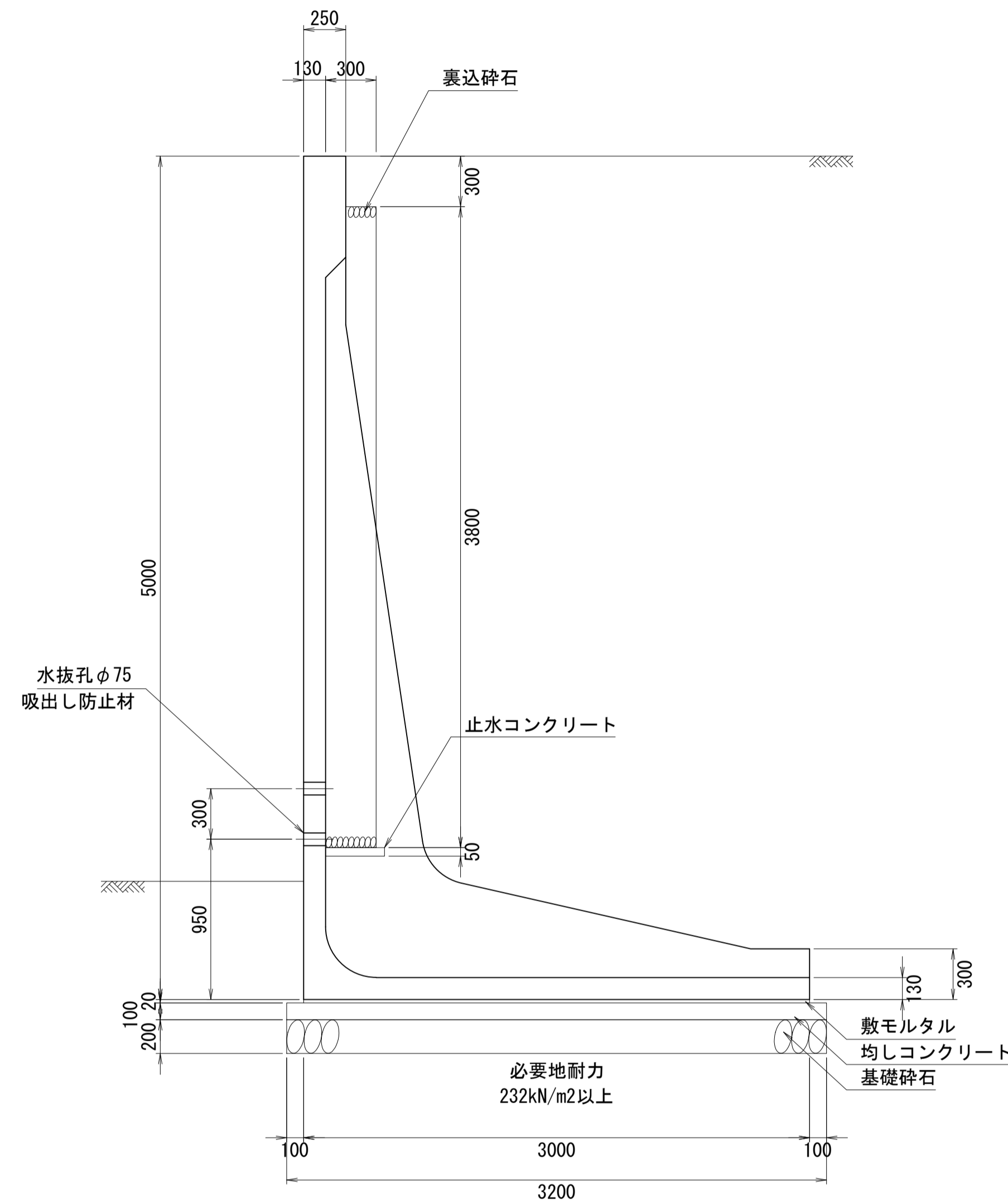
A1 S=1:25

A3 S=1:50

ハイ・タッチウォール
H=4750



ハイ・タッチウォール
H=5000



設計条件(土の内部摩擦角 $\phi=30^\circ$)

上載荷重	$Q=10.0\text{kN/m}^2$
土の内部摩擦角	30° (砂利または砂)
土の単位体積重量	$\gamma_s=18.0\text{kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu=0.5$ (岩、岩屑、砂利、砂)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=24.0\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
設計水平震度 (中規模地震時)	0.20
設計水平震度 (大規模地震時)	0.25

使用材料

敷モルタル	1:3
均しコンクリート	18N/mm ²
基礎砕石	RC40-0
裏込砕石	RC40-0 or C40-0

擁壁前面の根入れ高さ

造成工事	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上
------	------------------------

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜き及び裏込砕石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜きが根入れにより埋まる場合は、3m²に1箇所以上、水抜きを別途設けること。

ハイ・タッチウォール

大臣認定擁壁

A1 S=1: 50

A3 S=1: 100

横断面用断面

ハイ・タッチウォール H=3250	ハイ・タッチウォール H=3500	ハイ・タッチウォール H=3750	ハイ・タッチウォール H=4000	ハイ・タッチウォール H=4250	ハイ・タッチウォール H=4500	ハイ・タッチウォール H=4750	ハイ・タッチウォール H=5000